

第四中学校・第八中学校統合委員会 要 点 記 録

第 4 回

開 催 日 時	平成 30 年 12 月 12 日(水) 午後 6 時 30 分～7 時 35 分	
開 催 場 所	第八中学校 図書室	
出席者	委 員	渡辺勲、伊藤英男、西山篤臣、関根仁美、遠藤久子、戸引一博、伊藤良実、丸山尚美、成嶋伸浩、杉谷華織、佐久間利彦、下山田智恵、中田あき子、飯沼直之、中川明、吉田和代、大柴文子、和泉智乃、大槻麻里、佐藤明子、竹之内勝、遠藤純子、河村明彦、高橋昭彦、石原千鶴 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校・地域連携担当
	その他	子ども教育施設担当、パシフィックコンサルタンツ株式会社
会 議 次 第	【議事】 1 アンケート結果について 2 統合新校舎整備について 3 その他	

第 4 回 第四中学校・第八中学校統合委員会 会 議 要 旨

委員長

これより第4回学校統合委員会を開会する。傍聴希望者はいない。本日は新校舎の検討を支援していただく設計会社である、パシフィックコンサルタンツ株式会社の皆さんに出席いただいている。

議事に入る前に、事務局から報告がある。

事務局

第2回から本日にかけて皆様から新しい学校はこういう学校にしてほしいという意見を伺っているが、本日はこれらを統合委員会としてまとめて、後日、教育委員会に提出したいと思うので、ご協力をお願いしたい。

1 議 事

議事(1) アンケート結果について

委員長

それでは議事に入る。議事(1) アンケート結果について、パシフィックコンサルタンツ株式会社(以下パシコン)の説明を求める。

■資料「アンケート調査実施報告書(概要版)」をパソコン担当者より説明

調査目的

「中野区立小中学校再編計画（第2次）」に基づき統合する第四中学校・第八中学校の生徒、教職員、保護者、地域住民に対して、現在の学校の良いところ、改善すべきところ、今後の学校に望むことなどについてアンケートを実施し、基本構想・基本計画策定に向けた基礎データとする。

調査期間

平成30年9月3日～9月21日

調査対象、回答数

調査対象		回答数	
第四中学校 第八中学校	1～3学年の生徒	第四中学校	250人
		第八中学校	169人
	教職員	第四中学校	21人
		第八中学校	28人
保護者	第四中学校	85人	
	第八中学校	22人	
地域住民（各学校統合委員会委員の推薦する地域住民）		166人	

委員長

今の説明について、質問等はあるか。

委員

アンケート結果には記述がないが、中学生になると部活が頻繁に行われるが、雨のときには校庭の水はけの問題が出てくると思う。水はけはどこの中学校でも頭を悩ましていると思うが、何か改良工事等はあるのか。

事務局

新しい学校は、人工芝で整備を進めていく予定である。その上で水はけ、土への透水性を踏まえて材質等を決めていきたい。

議事（2） 統合新校舎整備について

委員長

その他に何かあるか。ないようであれば、議事（2）「統合新校舎整備について」、事務局の説明を求める。

■統合新校舎整備について、パソコン担当者及び教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）より説明

統合新校舎整備について

1 頂いたご意見及び、新校舎設計方針

	ご意見	新校舎設計方針
1	夏場の運動では汗をかくので、衛生面などを考慮してシャワールーム等を整備してほしい。	生徒も利用することのできるクラブハウス施設（開放機能）の中に、シャワールームを設けることを考えています。

2	校庭の材質は、中学生が活動することに支障のないものとしてほしい。	一足制での運営により、校庭は人工芝で整備していきます。なお、材質は中学生が活動することに支障のないものを選定します。
3	中学生は運動量も増え、また部活動もあることから、運動できるスペースをしっかりと確保するように検討してほしい。	新校舎を設置する場所の形状を十分に理解、検討し、最大限運動できるスペース確保するとともに、学校機能、開放機能に負担のかからない校舎配置を考えています。
4	普通教室は、校庭に面している場所に配置してほしい。	採光、通風が確保され、均質な普通教室の配置を考えています。
5	特別支援学級の職員室は、一般の職員室と同室にして整備してほしい。	特別支援学級を担当する教職員と、普通学級を担当する教職員が一体的に利用できる施設を考えています。
6	職員室は、特別支援学級や普通教室、校庭へのアクセスに適した場所に配置してほしい。また、学校が避難所となった際のことも踏まえて設計してもらいたい。	職員室を起点に、有事の際への対応を踏まえ、各諸室へアクセスしやすい配置を考えています。
7	現在の美鳩小学校は、妙正寺川を介して団地から校庭が丸見えなので、施設配置イメージ①（校舎を北側と西側に配置）とした場合、団地からの視線を遮ることができる。	近隣住居等からの視線にも配慮した校舎配置、諸室配置を考えています。
8	施設配置イメージ①（校舎を北側と西側に配置）とした場合、学校西側の通路沿いは高い擁壁があるため、通路側からの圧迫感が大きいと思う。	学校関係者以外も利用する河川通路について、安全性や、防犯性の意識を持って、校舎配置を考えています。

2 今後のスケジュール

平成30年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・新校施設に関する意見のとりまとめ（第4回統合委員会） →取りまとめた意見を教育委員会へ報告
平成31年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎等整備に関する基本構想・基本計画（案）について議会報告
平成31年2月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想・基本計画（案）について区民との意見交換会
平成31年3月末	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想・基本計画の策定 ・第5回統合委員会にて基本構想・基本計画（案）について報告

※当日の指摘を踏まえ、資料内容を修正

事務局

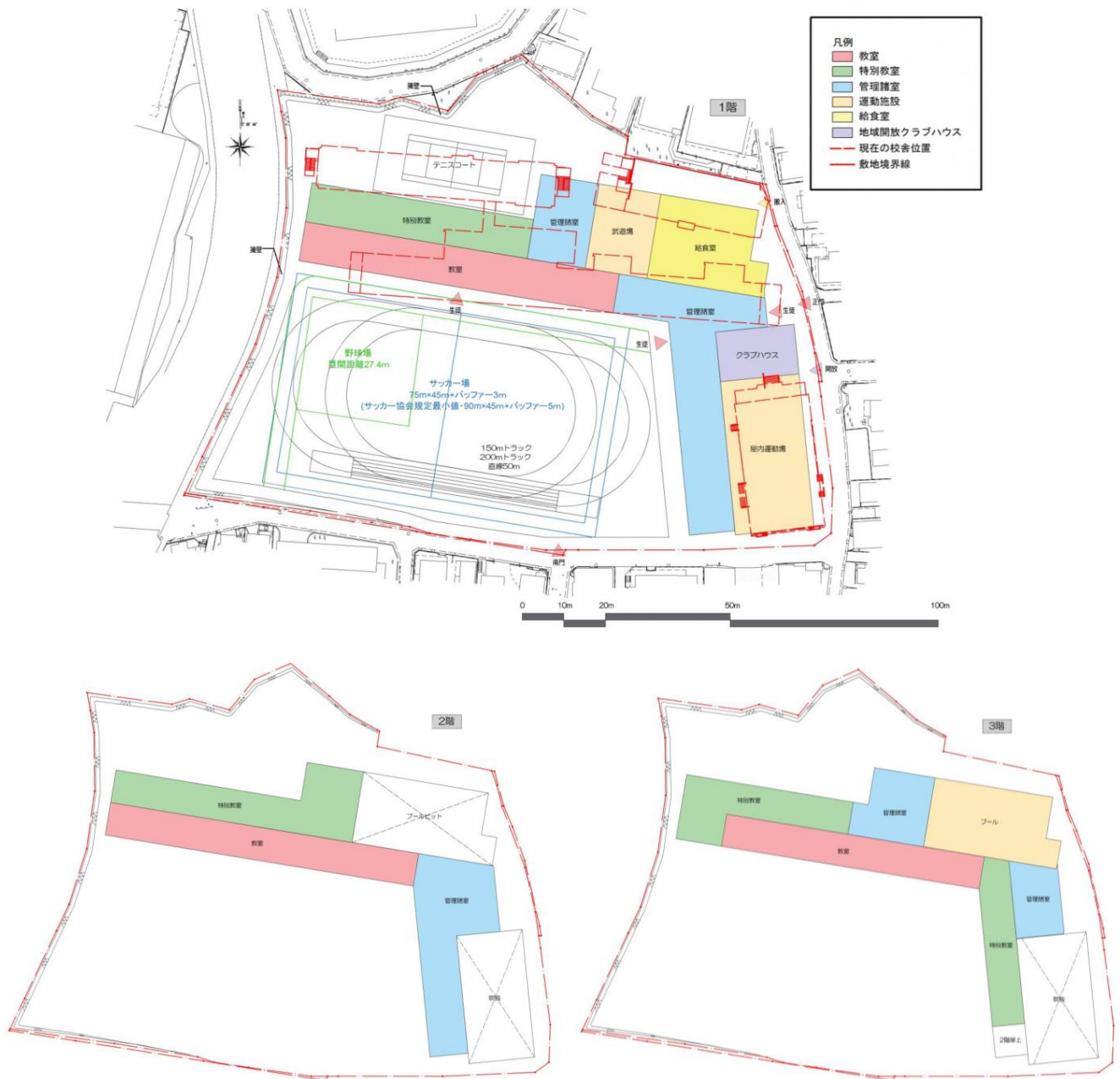
統合委員会では、新しくできる学校、こういう施設にしてほしいという意見を取りまとめて、教育委員会に報告する。教育委員会ではその意見も踏まえて、1月に基本構想・基本計画（案）を取りまとめる。2月にその計画案について区民の方との意見交換会を実施して、その内容は、次回の統合委員会で報告する予定である。最終的には3月に基本構想・基本計画を策定する予定である。

委員長

それでは、次に配置案について説明を求める。

■配置案について、パソコン担当者より説明

施設配置イメージ①



■建物配置特徴

【校舎・校庭】

- ・敷地北側東側にL字型に校舎を配置。(教室を1階～3階の南向きに配置)
- ・敷地南側に整形な校庭を配置。

【地域開放施設（屋内運動場、クラブハウス）】

- ・敷地南東側に屋内運動場、敷地東側にクラブハウスを配置。

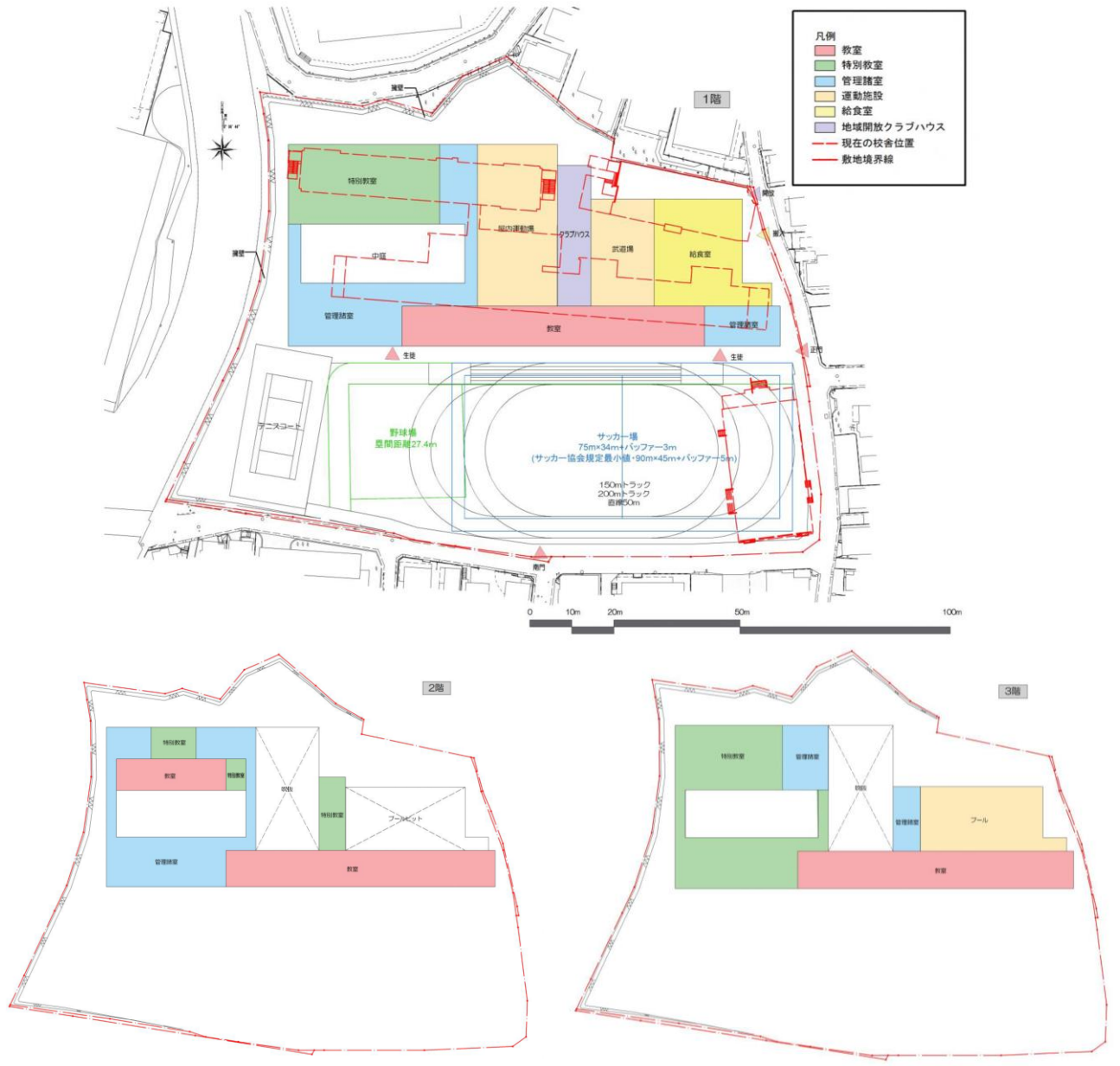
【メリット】

- ・全ての教室を南向きに配置出来ることから、採光を確保できる。
- ・開放施設と東側道路が近接しているため、施設を利用し易い。
- ・開放施設を東側南東側に集約して設けられるため、セキュリティーを確保し易い。

【デメリット】

- ・職員室からテニスコートの視認性に懸念がある。

施設配置イメージ②



■建物配置特徴

【校舎・校庭】

- 敷地北側に校舎を集約して配置。(教室を1階～3階の南向きに配置)
- 敷地南側に校庭を配置。

【地域開放施設（屋内運動場、クラブハウス）】

- 敷地北側に屋内運動場、屋内運動場の東側にクラブハウスを配置。

【メリット】

- 全ての教室を南向きに配置出来ることから、採光を確保できる。
- テニスコートと校庭を一体的に敷地南側に設けるため、管理がし易い。

【デメリット】

- 開放施設への動線が長くなるため、施設への利便性に懸念がある。
- 開放施設と学校施設が近接しており、セキュリティー確保に課題がある。
- 屋内運動場と教室が近接しており、騒音に配慮する必要がある。
- テニスコートと校庭は異なる素材を使用するため、一体的な利用に不向きである。
- 校庭が南北に狭い形状となり、サッカーや野球を行うにあたり制限を及ぼす。

委員長

今の説明について、意見は後ほど伺うので、まずは質問を伺いたい。

委員

統合委員会ニュース第3号に配置イメージ①と②が載っていたが、本日の説明はそのうちのイメージ①が基になっているようだ。方針は配置イメージ①で決定済みということなのか。グラウンドの位置が前回のイメージ①②で違っていたように思うが、どうなのか。

委員長

前回、2つの案があり、今回示されたような南側にグラウンドを配置する案が良いという意見さんが大半だったと思うので、この案は、それに基づいた形と考えれば良い。

パシコン

今回は、前回のイメージ①をベースに2案を作成している。校庭を南側に配置して、教室がそれに面するというコンセプトは変わっていないが、前回の案では体育館が西側だったものが、今回は東側にしている。開放時のアクセスを考えた場合、現在は東側の正門付近に体育館があるが、それと同じような形で計画するのが良いと考えたからである。今回のイメージ①②案とも、基本的に体育館を東側に配している。

委員

統合委員ニュースは昨日発行だが、今回示されている案との違いについてどう説明するのか。

事務局

統合委員会ニュースの発行と本日の統合委員会が重なり、分かりにくくなってしまい申し訳ない。今回発行した統合委員会ニュースは第2・3回の協議内容を周知するものなので、前回の配置案をさらに検討した今回の内容とずれが生じている。

委員長

次の統合委員会ニュースでは今回の新しい図面を出す予定である。昨日発行のニュースについては、最初の段階の配置案が提示されたということでご理解いただきたい。

委員

テニスコートは開放するのか。もし開放を考えていないのであれば、イメージ①について、校舎をもう少し北側に動かして、校庭を広くしてほしい。給食の搬入についても、一番北側の搬入というところにこれほどスペースを設けなくても良いのではないか。

テニスコートを開放するのなら、搬入と書かれているところから住民を入れると思う。開放しないのであれば、もう少しテニスコートを狭めて、校舎を北側ギリギリまで寄せれば、校庭がもう少し広がるのではないか。サッカーはこの校庭の広さですでできるだろうが、野球は難しそうだ。

事務局

第八中学校ではテニスコートを開放していないが、第四中学校ではテニスコートを開放しているので、そうした現況を踏まえて考えている。

委員

テニスコートを開放する場合、入口はクラブハウス横の開放部分になるのか、それとも給食室横の搬入部分か。

パシコン

テニスコートの配置については、イメージ①とイメージ②で考え方が異なっている。イメージ①ではテニスコートを北側に置き、イメージ②では西側に置いており、後者の方が一体的な広さを確保できる。校舎は出来る限り北側に寄せているが、中庭を取る等すると、イメージ②では横長の校庭になってしまう。また、イメージ①では、テニスコートが裏面、北側になるが、建物はコンパクトに出来るので、校庭の奥行がとれるという、どちらもメリット、デメリットが発生してくる。

委員

自分はイメージ①について述べている。搬入路から土地境界の間に空白があるが、イメージ①の校舎の位置をぎりぎり北まで持って行けば、南側の校庭がもっと広くなり、野球がしやすくな

るのではないか。

パソコン

北側に寄せると、搬入路がなくなってしまう。

委員

搬入は、その給食室の所に搬入からすぐ行けるから良いのではないかと思ったが。

パソコン

日影規制の懸念があり、これ以上北側に寄せられない。

委員

3階がプールだが、これは2階の屋上にあるということか。

パソコン

おっしゃるとおりである。

委員

室内プールにするのか。

パソコン

屋外プールとなる。

委員

建物の壁が無いので、日影規制を考える際に有利になるのではないか。

パソコン

日影規制は、フェンスの高さも含めて考えなければいけない。フェンスも含めると、この位置が限度である。

委員

現在の第四中学校では、防災倉庫ともう一つ、ガソリン用の倉庫があるが、これはどこに置くのか。ガソリンは普通の備蓄倉庫に入れられない。

事務局

防災倉庫や備蓄倉庫は、区の防災担当と今後詳細を詰めていく。今の段階では全体的な配置のみを示している。詳しい位置は今後検討する。

委員

テニスコートは学校施設に必要なのか。

パソコン

部活動で使っている状況がある。

委員

統合新校にテニス部ができるかどうかは、分からないだろう。

事務局

第四中学校ではテニス部は無いが、開放はしている。一方で第八中学校では、テニス部がある。両校ともテニスの実績があるという状況である。

委員

先ほどはテニスコートの開放はしないと説明していなかったか。

事務局

第四中学校で開放している。

委員

統合新校でも開放するのか。

事務局

今後調整することになる。

委員

今回の資料では校舎と校庭面積が書かれていないが、前回の配置案と比べてどうなっているのか。

事務局

校舎の延床面積と運動場用地の面積について回答する。イメージ①では、延床面積が約 9,500 m²で、校庭の面積は約 5,100 m²である。イメージ②については、延床面積は約 9,700 m²で、校庭の面積は約 4,600 m²、テニスコートを一体的に利用した場合は、約 5,300 m²である。

委員

一足制に関してだが、屋内運動場とテニスコートについて、靴を履きかえるスペースをどのように考えているのか。また、その靴を個人が持って行く靴袋を入れるロッカー等を教室等に設ける考えなのか、教えてほしい。

事務局

屋内運動場については、体育館履きに履き替えるので、全面に1学年分の下足入れを設ける予定である。教室内の荷物用ロッカーについては、現在の中学生の荷物量も踏まえ、適切な大きさを配置していく。テニスコートについては、テニスコートはテニスに適した床材を検討しながら、その中で靴をどうするかという点を先生方のご意見を聞きながら整備していきたい。

委員

管理諸室には、どのような部屋が入るのか。

事務局

教職員室、放送室、PTA室、地域連携室、備蓄倉庫、器具庫、保健室、会議室、進路指導室、事務室などを想定している。

委員

そうすると、イメージ①について、門から入ってきた生徒は管理諸室を抜けて教室に入ることになるのか。

事務局

図面上では管理諸室と書かれているが、廊下やエントランスホールも入っていて、その部分や階段を通り、普通教室等に行く。今回は大まかなゾーニングとして捉えていただきたい。

委員

資料「統合新校舎整備について」の5「特別支援学級の職員室は」というくだりだが、右側の新校舎設計の方針に書かれている「普通学級」については、「通常の学級」という表現が正しい。

事務局

資料を修正させていただく。

委員

前回もお願いをしたが、100mの直線が取れるスペースはあると思うので、それを記載すると分かりやすくなると思う。また、体育館の横幅が非常に狭く、バレーボールのコートが2面取れない状況だと思う。2面取れる体育館を用意してもらえると嬉しい。その分若干校庭が狭くなるかもしれないが、あと1、2m程度のことだと思う。バレーボールは、サーブを考えると22m程度の横幅が必要だろう。

また、1学年分の靴入れを体育館に設置する予定だという説明があったが、全校集会の時のことを考えると、3学年分の靴箱が必要だと思う。

委員

①案について、武道場と体育館が離れているが、基本的には体育施設は一体型が良いと思う。地域柄、武道場は、剣道、合気道等で使うことがあるかと思う。その開放の動線もあるだろうし、離れているとそれぞれに一足制で下駄履きを置くスペースを取らなければいけないので、無駄が発生してしまうのではないかと思う。体育館の地下に下駄箱を置くスペースがあると、空いたスペースを有効活用できて良いと思う。

委員長

では、今までの意見・質問を踏まえて、最後に一人ずつ順番に意見を述べてほしい。

委員

自分が子どもの頃は学校に動物の飼育小屋があったが、それは作らないのだろうか。

事務局

小学校までということ考えている。

委員

承知した。

委員

防犯と防災はどうなっているのか。学校に一般の人々が簡単に入れるのは防犯上良くない。また、常駐する人間はいないと思うが、緊急時に防災倉庫に入るときは、門の管理をどうするのか。

事務局

防犯と防災時の鍵の開錠の課題については、まだ具体的にやり方が決まっていない。今後どのようにするのか検討したい。

委員

体育館と武道場を一体的に整備してほしいという意見に賛成である。また、野球ができるのかという不安が少しある。今は白鷺せせらぎ公園で野球をしているが、あのくらいの広さは必要だと思う。今の美鳩小学校のグラウンドの広さでは難しいと思うので、もう少しグラウンドを広くできたら嬉しい。

委員

あまり学校のことはよく分からないが、屋上はどう利用するのだろうか。

パソコン

屋上の運用については、生徒が落ちないようにしないといけない。今後、学校と確認していきたい。

委員

ぜひアンケート結果の声を聞いて校舎をつくってほしい。生徒目線で考え、安全で学習効果上がる今までにない新しい校舎をつくってほしい。

委員

クラブハウスは要らないのではないか。資料「統合新校舎新校舎整備について」の新校舎施設方針で「生徒も利用することのできるクラブハウス施設」と書かれているが、生徒が利用するシャワールームとはどのようなものなのか。できるだけ我々委員の意見も吸い上げてほしい。

パソコン

クラブハウスは、体育館を開放することと、運動部で使うことを踏まえて考えている。第八中学校にクラブハウスがあるが、ロッカールームやトイレをクラブハウスの中に設けることを考えている。

委員

部活動の後に何人の生徒が使う想定をしているのか。一つのクラブには数十人の生徒がいるが、一人ずつ使うのか。

パソコン

シャワールームは開放だけに限定して設けておらず、部活動の生徒も使えるものだと現在は考えている。

委員

クラブハウスにはロッカーや更衣室が必要だと思うが、シャワールームは特に要らないと思う。自分の子どもはバスケットボール部だが、時間ぎりぎりまで練習して、着替える暇もなく汗だくの状態で帰ってくる。皆電車で一時間もかけて通ってくるわけではないので、シャワーは家に帰ってから浴びれば良いと思うし、地域の人でも近くから来るのだからシャワーを浴びる必要はないのではないか。また、予算的に無理かもしれないが、プールを体育館の地下に設ければスペースをもっと作れると思う。

委員

中学生の本分は勉強だと思うので、学習環境の整備を第一に考える必要があると思う。それを一番考えているのは先生方なので、アンケートの「教職員の方々の意見」を重視してハードを整

えてほしい。

委員

一足制が気になる。子どもが一足制の高校に通っているが、日中は革靴で過ごしている。体育館履きと、校庭用の運動靴と、計3足を持っている。一足制ならば運動靴で登校し、家庭科室や体育館でも靴を履き替えないのだろう。体育館は体育館履きにすれば良いと思う。

委員

資料で屋内運動場と書かれているところの赤い線は、今の美鳩小学校の体育館ということだろう。統合新校のものは中学生には少し小さいので、この倍ほどの大きさにしてほしい。

委員

教室や運動場以外に、生徒が落ち着いて歓談できるスペースがあると良いと思う。イメージ①でテニスコートの北側と西側に小さなスペースがあるし、イメージ②でも尖ったスペースがあるが、これらはどのようなスペースになるのだろうか。生徒がほっとできる場所があると良いと思う。

委員

先ほど今後のスケジュールの説明があり、本日、統合委員会で新校施設に関する意見を取りまとめ教育委員会に報告すると言っていたが、誰がどこまで取りまとめ教育委員会に報告するのかが分からないので、はっきりさせてほしい。本日イメージ①またはイメージ②でいくと決めるのか。

委員

保護者が安心して子どもを預けられる学校にしてほしい。昨今、自然災害が多く、いつ何が起きるか分からない状況である。学校管理下において生徒の命を守れるのは教職員しかいないので、彼らが助けやすい動線のレイアウトにしてほしい。また、彼らが教育活動しやすい環境を整えれば生徒たちも安心して勉強できるので、真剣に考えていただきたい。

委員

アンケートでは、生徒から広い校庭が欲しいという要望が出ていた。校庭をイメージ①とイメージ②で比べると、イメージ②の方はテニスコートと校庭が一体になっており一見広く見える。しかし、テニスコートには人工芝ではない材質を使うということなので、同時にテニスコートと校庭を使うことを考えると、ボールが飛んで行かないようにテニスコート周囲にフェンスのようなものが設置されるのかと思う。すると、実質的にグラウンドとして使える校地の広さは4,600㎡として考えなければいけないので、イメージ①の方が広くなるだろう。

委員

校舎の生徒用の入り口の数が少なく感じた。何かあった時の避難経路を考えると、校舎北側も含めて、もう少し出入り口を増やしてほしい。また、今後のスケジュールについて、2月中旬に区民との意見交換会を行うということだが、この基本計画の案が取れてからも、もう1回は意見交換会を行う必要があると思う。統合後も色々と校舎の設計が変わっていくかと思うが、統合委員会の解散後でも、その都度情報を頂ければ嬉しい。

委員

スペースが限られているので、意見を聞きながら調整してほしい。学校を運営していて思うことは、汎用性が高い施設を整備してほしい。学校に求められるニーズは時代によって大きく変わるので、今重要とみなされていることでも、数十年後にどうなるかは分からない。

委員

学校に一番長い時間滞在するのは中学生で、部活動に参加していれば10時間程学校にいることになる。生徒が学校に来るのが楽しくなるような学校になるように、ぜひアンケートの生徒たちからの意見を取り入れてほしい。

委員

今、話のあった意見も含めてお話したい。委員の皆様からご支援とご意見を頂いて、幸せな生徒たちだと思う。彼らが統合して良かったと思える学校にしてほしい。また、卒業後も何かの

きに貸してもらいやすいような教室があっても良いのではないかと思う。美鳩小学校の子どもたちは2回統合を経験することになるが、貴重な経験ができたと思えるような学校づくりが出来たらよいと思う。今後も教育活動に邁進する所存なので、ご支援のほどよろしくお願いしたい。

委員

よく考えられた図面だと思う。保護者としては、一足制については、雨の日は長靴を履かせたいが、どうするのが気になる。校舎以前の問題で気になるところがあり、川沿いで、土地が高くなっているので、土を盛っているのではないかと思う。もう済んでいるのかもしれないが、地盤調査をしてほしい。また、テニスコートは、中学校の機能として無くても良いものであれば、無くしても良いと思う。体育館の工事の間、小学校に中学生が来て活発に部活動していて、元気に挨拶をする姿に、地域住民から見て、社会に出ていく中学生としてとても好ましく感じた。先生方は大変だろうが、このように部活動を外で行うのも一案ではないか。

委員

イメージ図を拝見して思ったのは、防災用の備蓄倉庫や、一足制導入による靴置場など、スペース確保の重要性を感じた。イメージ②の中庭は教室1室分以上のスペースがありもったいなく感じるので、イメージ①の方が現実的だと思った。また、今回のアンケート結果を区はどのように生かすつもりなのか。

事務局

アンケートの取扱いについては、本日頂いた意見も含め、これから新校舎の詳細な設計をする中で頂いた意見を踏まえて検討していく。

委員

施設だけではなく、学校生活の面からも、生徒が楽しく通える学校になると良いと思った。

委員長

一足制については、下駄箱がどうなるのかということや、靴を何足も用意しなければいけなくなるという問題があるので、なぜ必要なのかと思った。自分は中学校から一足制の私立の学校に通っていた。一日革靴を履き、足が蒸れると運動靴に履き替えるか、裸足になった。校舎の中が泥や埃だらけになると、掃除が大変である。そういうところまで考えて一足制を掲げているのか。単に下駄箱のスペースを取らなくて済むから一足制が良いという考えで導入したのであれば、方針を改める必要もあると思う。

事務局

教育委員会として、今後新たに校舎を整備する学校は一足制にする方針を決めた。しかしいろいろとご不安があると思うので、次回の統合委員会でその点をお話したい。

委員長

次に意見の取りまとめに移る。皆様から戴いた意見を事務局と調整するため、少し時間を戴きたい。

—意見調整—

委員長

本日皆様の意見を聞いていくと、大体イメージ①の方がイメージ②よりも良いという意見が多かったと思う。中身は別として、概略的な部分ではイメージ①案で進めるということによろしいか。

—異議なし—

委員長

では次に、前回までの意見を踏まえて事務局で統合新校舎の改築に関する意見書（案）をまとめていく。事務局の説明を求める。

■資料「統合新校舎の改築に関する意見について（案）」を事務局が読み上げ

- ・ 統合新校舎が、周辺の住宅に及ぼす騒音、圧迫感及び日影等の影響を十分把握し、学校施設の配置の検討をしていただきたいと考えます。
また、周辺住宅等からの視線にも配慮した施設にさせていただきたいと考えます。
- ・ 職員室は、災害時には要となる部屋であることを考慮して、教室や校庭へのアクセスに適した位置に設置していただきたいと考えます。
あわせて、特別支援学級と普通学級の児童及びそれぞれを担当する教職員が一体的に利用できる施設にさせていただきたいと考えます。
- ・ 運動量の増える中学生が利用する施設となることを踏まえ、十分に活動できる校庭や、衛生面に配慮した施設設計にさせていただきたいと考えます。
- ・ 校庭については、一足制でのメリットを活かしつつ、中学生が活動することに支障のない設計、材質の選定をしていただきたいと考えます。
- ・ 学校を使用している生徒教員の意見は、統合新校校舎改築の際にできるだけ反映していただきたいと考えます。

事務局

文言等は委員長、副委員長と事務局で調整し、統合委員長の名前で教育委員会事務局に統合委員の意見として出すという手はずになっている。

委員

「あわせて、特別支援学級」云々の後、「普通の学級の児童」について、「児童」は小学生なので「生徒」に直してほしい。

委員

最後の「生徒教員の意見は」を「生徒及び教職員」に直してほしい。

委員

一足制のメリットを生かしつつというところを言わなかったのは何か意図があるのか。

事務局

ただいま、一足制のメリットについて疑問があるというご発言があったので、外した。

委員長

事務局のほうから統合新校舎の整備に関する意見の取りまとめの提案があり、それに対して、今ご意見を戴いた。事務局は、それに基づいて意見書をまとめてほしい。最終的な報告書については、委員長、副委員長と学校長で調整したいが、よろしいか。

—異議なし—

議事(3) その他

委員長

本日の議事は以上だが、事務局から報告がある。

事務局

今後の第四中学校の整備について報告する。第四中学校は、統合時の校舎となることから、必要な改修工事を学校と調整して行っていく。具体的な改修内容は決まり次第追って報告する。

委員長

今の説明について質問はあるか。ないようであれば、次の報告に移る。

事務局

先日の統合委員会で、委員から通学区域が広がることに伴い、電車やバスなどの公共交通機関

を使った場合の交通費の公費助成ができないかと話があった。その件について、教育委員会で検討した結果、実施困難という結論を出した。区内全般で見た場合、統合新校は通学時間が延びている状況はある。

本統合新校と同等の通学時間を要する学校も実際にあるが、公共交通機関を使わず通学いただいている状況である。

また、自費負担で公共交通機関を使って通学することの可否についても質問があった。前提としては、通学区域は徒歩圏内と考えているが、仮にそのような申し出があった場合には、学校長判断になる。基本的には徒歩で通える通学区域という前提での判断になるかと思う。

委員

判断を下すのは、統合後の学校長なのか。

事務局

統合後の学校長である。

委員

その他に何かあるか。ないようであれば、次回を開催日を決める。

事務局

次回は3月5日火曜日 18時半から、鷺宮区民活動センターで開催したい。

委員

資料「統合新校新校舎整備について」の今後のスケジュールに、平成31年1月に第5回統合委員会で基本構想・基本計画（案）について報告と書かれているが、これはどうなのか。

事務局

資料作成時はこの予定だったが、統合委員会をこの時期に開催できなくなったので、申し訳ないが基本構想・基本計画（案）の報告を3月5日に変更させていただきたい。

委員

2月中旬の意見交換会の案内は、統合委員にも情報がくるのか。

事務局

統合委員にもご案内したい。

事務局

最後になるが、今後のスケジュール予定を、机上に配布しているのでご確認いただきたい。

◎資料「第四中学校・第八中学校統合委員会開催スケジュール（予定）」

回数	協議内容等	開催予定
平成30年度		
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ○委員委嘱、委員長・副委員長の選出 ○統合委員会の運営について ○学校統合委員会の検討スケジュール等について ○中野区立小中学校再編計画(第2次)の概要及び学校統合委員会の検討内容等について 	平成30年 7月9日
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ○中野区立小中学校施設整備計画について ○平成30年度新校舎新校舎整備に係る基本構想・基本計画の策定スケジュールについて ○アンケート調査について 	8月29日

第3回	○統合新校の新校舎の基本構想・基本計画（案）について ※アンケートの回収	10月23日
第4回	○アンケート結果について ○統合新校新校舎整備について	12月12日
第5回	○統合新校の新校舎の基本構想・基本計画（案）について	3月
平成31年度		
第6回	○統合新校の新校舎の基本構想・基本計画について ○校名の選定方法について ○学校指定品(標準服体育着等)のあり方について	平成31(2019)年度 2か月に1回程度 開催予定
第7回	○校名の選定方法について ○学校指定品の選定方法について	
第8回	○校名の検討について ○学校指定品(標準服)の検討について※	
第9回	○統合新校の新校舎の基本設計(案)について ○校名の検討について ○学校指定品(標準服)の検討について※	
第10回	○校名の協議結果まとめ ○学校指定品(標準服)の検討について※ ○学校指定品(標準服)候補展示会の実施について ○校章・校歌の検討について	平成31(2019)年度 2か月に1回程度 開催予定
第11回	○統合に向けた第四中の改修工事について ○統合新校新校舎の基本設計について ○学校指定品(標準服)の形式・作成業者の選定について ○校章・校歌の検討について	
平成32年度		
第12回	○学校指定品(標準服)の検討について※ ○校章の検討について ○校歌の検討について	2020年度 2か月に1回程度開 催予定 (9月頃検討終了 2月頃まとめ)
第13回	○統合に伴う改修工事予定について ○学校指定品(標準服)の協議結果のまとめ ○校章デザインの検討について	

第14回	<ul style="list-style-type: none"> ○学校指定品(体育着等)の選定について ○校章の協議結果について ○校旗の制作について 	
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ○統合新校新校舎整備に係る今後のスケジュールについて ○校歌の協議結果のまとめ ○校旗の協議結果のまとめ ○全体のまとめ 	

○回数については、協議の進捗状況に応じて増減します

○適宜、統合新校のあり方について協議します

○学校指定品(標準服)※については、時期になりましたら、選定方法を協議してください。

【過去の例 標準服検討部会の立ち上げ】

委員長

では、次回は3月5日に開催するという事でよろしいか。

—異議なし—

委員長

時期が近づいたら、事務局から開催通知を送付する。その他に何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了とする。